

## 第4章 導入機能と整備イメージ

### 4-1. 導入機能

#### (1) 機能・施設のアイデアやニーズ

つつじが岡公園の魅力向上やサイクリングターミナル再開に向けて事業実施の可能性を確認するため、民間事業者意向調査を実施しました。意向調査で挙げられたアイデアや、公園利用実態調査等において高いニーズが確認された機能・施設としては、以下のようなものが挙げられています。

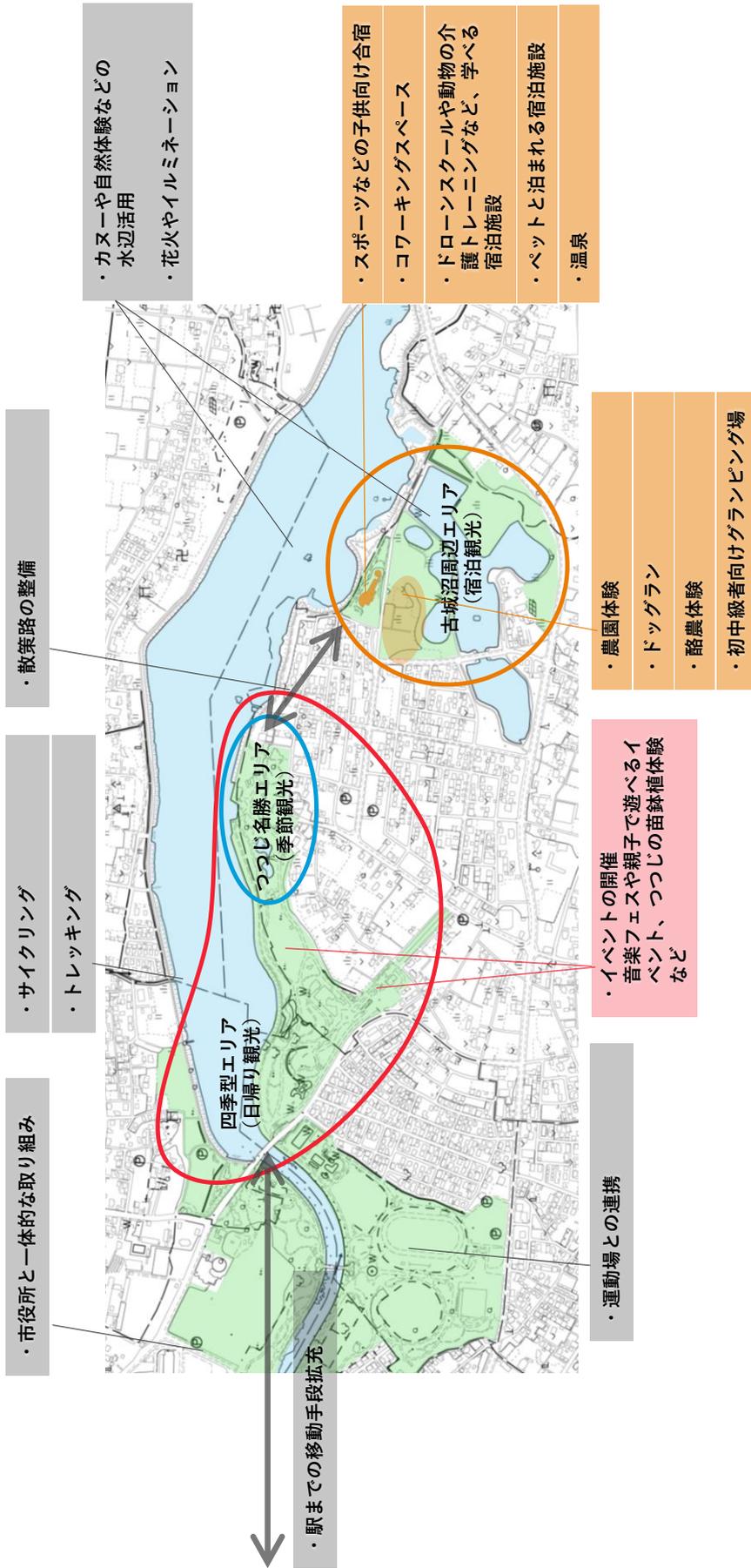
【機能・施設のアイデアやニーズ一覧】

	民間事業者意向調査における アイデア	公園利用実態調査等における ニーズ
①物販機能	・ レストラン近くでの産地直売	・ 地元野菜や物販販売等
②飲食機能		・ カフェや露店、屋台等
③宿泊機能	・ 初中級者向けのグランピング場	・ グランピング場
	・ ドローンスクールや動物の介護 トレーニングなど、学べる宿泊施設	・ 温泉
	・ スポーツ等の合宿受け入れ	
	・ ペットと泊まれる宿泊施設	
④その他関連施設	・ 農園体験や酪農体験	・ 駐車場の拡張
	・ ドッグラン	・ 子どもの遊び場
	・ コワーキングスペース	・ スケートボードパーク
	・ サイクリングターミナルへの散策路	・ 体験施設（うどん打ちや工芸体験等）
⑤ソフト系施策	・ イベントの開催 （スポーツイベント等）	・ イベントの開催 （音楽フェスや親子で遊べる イベント、つつじの苗鉢植体験等）
	・ 市外観光スポットとの連携	
	・ 館林市の魅力のPR強化 （こいのぼりやうどん、白鳥等）	
	・ カヌーや自然体験などの水辺活用	
	・ 花火やイルミネーション	
	・ 市役所と一体的な取り組み	
	・ サイクリングやトレッキング	
	・ 駅までの移動手段拡充	

## 【機能・施設のアイデアやニーズ】

### 《公園全体について》

- ・市内外観光スポットとの連携
- ・市内外観光スポットとの連携
- ・カフェなど飲食の充実
- ・物販施設（地元野菜や特産販売等）
- ・スケートボードパーク
- ・子どもの遊び場



## (2) 機能・施設の導入方針

挙げられた機能・施設について、再整備方針に基づいて、以下のような導入方針とします。

### 【機能・施設のアイデアやニーズに対する方針】

	民間事業者意向調査における アイデア	公園利用実態調査等における ニーズ
<b>①物販機能</b>	・レストラン近くでの産地直売	・地元野菜や物販販売等
⇒物販イベントなどの社会実験により、日常利用の増加や集客力の強化を図るとともに、収益性や集客性を検証し、常設化（旧管理事務所の活用、新規建物の建設、コンテナハウスの設置など）を目指して中長期的に検討する。 （方針①新たなターゲットの獲得に対応）		
<b>②飲食機能</b>		・カフェや露店、屋台等
⇒マルシェやフードイベントなどの開催、キッチンカーの誘致により、飲食機能を充実させ、日常利用の増加や集客力の強化を図る。 （方針①新たなターゲットの獲得に対応）		
<b>③宿泊機能</b>	・初中級者向けのグランピング場	・グランピング場
	・ドローンスクールや動物の介護トレーニングなど、学べる宿泊施設	・温泉
	・スポーツ等の合宿受け入れ	
	・ペットと泊まれる宿泊施設	
⇒民間活力の導入により、サイクリングターミナルと未供用公園用地の一体的な活用を図る。 他機能との連携により、泊まりたくなる公園づくりを目指す。 （方針③サイクリングターミナルの活用に対応）		
<b>④その他関連施設</b>	・農園体験や酪農体験	・駐車場の拡張
	・ドッグラン	・子どもの遊び場
	・コワーキングスペース	・スケートボードパーク
	・サイクリングターミナルへの散策路	・体験施設（うどん打ちや工芸体験等）
⇒再整備により、本公園の集客力が強化されると、駐車場に対する需要は増加すると考えられる。 物販イベントなどの社会実験により、駐車場需要を検証し、必要に応じて拡張整備を実施する。 その他の機能については、今後の検討や民間事業者の提案により実施する。 （方針①新たなターゲットの獲得、②通年・終日利用できる目的に対応）		

	民間事業者意向調査における アイデア	公園利用実態調査等における ニーズ
⑤ソフト系施策	・ イベントの開催 (スポーツイベント等)	・ イベントの開催 (音楽フェスや親子で遊べる イベント、つつじの苗鉢植体験等)
	・ 市外観光スポットとの連携	
	・ 館林市の魅力のPR強化 (こいのぼりやうどん、白鳥等)	
	・ カヌーや自然体験などの水辺活用	
	・ 花火やイルミネーション	
	・ 市役所と一体的な取り組み	
	・ サイクリングやトレッキング	
	・ 駅までの移動手段拡充	
<p>⇒年間を通して利用される四季型公園として、シーズンや時間帯による利用の落ち込みが少なく、最大限利用される公園を目指し、通年利用できるコンテンツと集客力を補完するイベントの拡充を図る。</p> <p>また、利用時間の拡大を目指すとともに、サイクリングターミナルへの宿泊を促すため、夕方以降の公園利用を促すコンテンツを拡充する。 (方針②通年・終日利用できる目的に対応)</p>		

### ■民間事業者意向調査

公園内における民間事業の実施可能性や、計画地の再整備アイデアなどを把握するため、民間事業者意向調査を実施し、13社から回答を得ました。

時期：令和3年7月から12月

手法：個別ヒアリング（対面・WEB会議）

希望した事業者には現地内覧を実施

対象事業者：・つつじが岡公園の魅力向上に向け、公園内コンテンツを提供する事業者

・園内施設を運営・管理する事業者

・サイクリングターミナルの再開に向け、宿泊施設を運営する事業者 など

## 4-2. 整備イメージ

再整備方針に基づき、本計画におけるリニューアルポイント及びソフト施策の計画は以下の通りです。また、再整備計画図を以降に示します。

### ■再整備方針

#### 方針①新たなターゲットの獲得

- ・ 様々な利用者が訪れ、長く滞在できる公園を目指し、里沼のロケーションを生かした居心地の良い空間の更なる向上を図ります。
- ・ 物販・飲食の充実により、地域住民による日常利用の増加や、観光地として集客力の強化を図ります。

#### 方針②通年・終日利用できる目的

- ・ 公園を訪れる目的となる体験型コンテンツの導入により、年間を通して利用される四季型公園として、シーズンや時間帯による利用の落ち込みが少なく、最大限利用される公園を目指します。
- ・ 夕方以降の公園利用を促すコンテンツを拡充し、利用時間の拡大を目指すとともに、サイクリングターミナルへの宿泊を促します。

#### 方針③サイクリングターミナルの活用

- ・ 民間活力により、集客力の高い観光関連施設としてサイクリングターミナルと未供用公園用地の一体的活用を図り、泊まりたくなる公園づくりを目指します。



### ■再整備計画

#### リニューアルポイント① 飲食物販イベントの開催、物販施設の常設化を目指して検討

- ・ マルシェやフードイベントなどの開催、キッチンカーの誘致
- ・ 社会実験により収益性や集客性を検証し、常設化（旧管理事務所の活用、新規建物の建設、コンテナハウスの設置など）を目指して中長期的に検討

#### リニューアルポイント② 園路→駐車場

#### リニューアルポイント③ 駐車場の拡張整備

- ・ 再整備に伴い増加すると考えられる駐車場需要への対応

#### リニューアルポイント④ サイクリングターミナルの再開と未供用公園用地の活用

- ・ 民間活力の導入により、サイクリングターミナルと未供用公園用地の一体的な活用を図る

#### ソフト施策① 体験イベントなどの充実

- ・ 音楽フェスや親子で遊べるイベントなど、集客力を補完するイベントの充実

#### ソフト施策② つつじの保護育成と集客力向上

- ・ 国名勝に指定されている「躑躅ヶ岡」の保護、城沼北岸からの景観を将来的に維持
- ・ つつじの保護育成と、周辺エリアを含めた賑わい創出

# 【再整備計画図】

つつじが岡公園  
再整備計画図

**ソフト施策①**

- ・体験イベントなどの充実



**リニューアルポイント①**

- ・飲食物販イベントの開催
- ・物販施設の常設化を目指して検討




**リニューアルポイント②**

- ・園路 → 駐車場



**リニューアルポイント③**

- ・駐車場の拡張整備



**ソフト施策②**

- ・国名勝に指定されている「躰躰ヶ岡」の保護
- ・城沼北岸からの景観を将来的に維持
- ・つつじの保護育成の徹底
- ・つつじまつりを中心とした集客力の向上
- ・周辺エリアとの連携強化

**リニューアルポイント④**

- ・サイクリングターミナルを宿泊施設として再開し、未供用公園用地と一体的な運営により観光拠点を形成



出典：館林市 発行 1/25,000 都市計画図